

九州大学
大型計算機センターニュース
No. 412

1990. 3. 5

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次	
1. FORT/77・FORT77/VPの一部障害のお知らせ	1
2. COMPACTのCLP出力機能について	2
3. PLUM (オンラインマニュアル参照システム) の t t y参照機能追加について	3
4. UTSコマンドの新設について	4

1. FORT/77・FORT77/VPの一部障害のお知らせ

FORT77及びFORT77/VPに、一部障害があったことが判明しました。
障害の内容、障害の発生条件、障害のあった期間等は、以下のとおりです。
当障害は、1990年2月19日(月)に修正されています。

記

[現象]

実行時、OC4-ABEND又は実行結果異常となることがある。

[条件]

以下の条件をすべて満足したとき。

- ① OPT(3), XOPT(NOAMOVE)オプションが指定されている。
- ② DOループがある。
- ③ ②のDOループ内でIF文又はGOTO文等により、ある条件によっては実行されない実行文がある。
- ④ ③の実行文に配列要素の引用がある。
- ⑤ ④の配列の添字式に除算演算がある。
- ⑥ ⑤の除算演算に使用している変数又は配列要素がDOループ内で不変である。

[プログラム例 1]

```
DO 1 I = 1, L
  :
  IF (論理式 1) GO TO 1
  :
  IX = IY ( N / M ) .....(a)
  :
1 CONTINUE
```

備考. 論理式 1 の条件により, (a) の文が実行されない場合がある.

[プログラム例 2]

```
DO 1 I = 1, L
  :
  IF (論理式 2 . AND . IXX( N / M ) . GT . 0 ..... )
  :
  :
  :
1 CONTINUE
```

備考. 論理式 2 が偽の場合, (b) 以降の式が実行されない. なお, 論理式 2 と (b) の式が入れ替っている場合, 当障害は発生しない.

[障害のあった期間]

1985年12月9日 から 1990年2月17日 まで.

(ライブラリ室 電 (内) 2508)

2. COMPACTのCLP出力機能について

2月26日(月)から標記機能を追加しています. 指定可能な印刷タイプは A4T1, A4T2, A4T3, A4T4 の4種類です.

TSSによる使用例

CLPに印刷タイプ A4T2 で出力する.

```
READY
COMPACT A.FORT77 TYPE(A4T2)
*** OUTPUT DEVICE ---> CLP ***
***** COMPACT ( V10/L20 ) 02/26/90 10:31:56 *****
READY
```

バッチでは, パラメタに印刷タイプと UNIT=CLP を指定する必要があります.

バッチによる使用例

CLPに印刷タイプ A4T4, 20CPIで出力する.

```
// EXEC COMPACT, PARM='A4T4, UNIT=CLP, CPI=20'  
//UTYIN DD DSN=A79999A. TEST. FORT77, DISP=SHR  
//
```

注意)

TSS及びバッチによる使用において、印刷タイプ A4T4 の場合は標準の16CPIでは行番号が完全には出力されないのでCPIを20CPIにして下さい。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP COMPACT使用手引書
(70SP-6090-2), 富士通㈱

(ライブラリ室 電(内) 2508)

3. PLUM (オンラインマニュアル参照システム) の tty 参照機能追加について

オンラインでマニュアルを参照できるPLUMは、現在センター端末でのみ稼働中ですが、2月26日(月)からtty端末及びN-1経由のFNVT端末でも参照可能になります。エミュレータとして、Turbo ETERM, 新TSSPFDFが必要で、(TSSPFDFは、最新バージョンをコピーして下さい。)

参照できるマニュアルは、以下のとおりです。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1) FACOM OS IV | FORTRAN77 文法書 |
| 2) FACOM OS IV / F4 MSP | FORTRAN77 使用手引書 |
| 3) FACOM OS IV / F4 MSP | FORTRAN77 拡張言語手引書 |
| 4) FACOM OS IV | C言語文法書 |
| 5) FACOM OS IV / F4 MSP | C言語使用手引書 |
| 6) FACOM OS IV / F4 MSP | ジョブ制御言語文法書 |

参考文献

1. センターニュース No.404.
2. 計算機マニュアル, 「FACOM OS IV/F4 MSP TDS/PLUM 説明書」(78SP-7280-1),
富士通㈱.

(ライブラリ室 電(内) 2508)

4. UTS コマンドの新設について

UTS 上で後述のコマンドが利用できるようになりました。

1) prsch

`$HOME/.schrc` に作成したパーソナルスケジュールデータを表示する。オペランドなしで指定すると、その週のスケジュールのみを表示する。ただし、パーソナルスケジュールデータの中身が日付でソートされていないとうまく動かない。

.schrc のフォーマット

日付	時間	内容
03/01:	11:00-12:00	LAN 打合せ
03/02:	13:30-15:00	システム 検討会議

から 1 ~ 6 8 ~ 18 36 ~

`.schrc` を `calendar` にリンクしておけば、`calendar` コマンドでも利用できる。

(In `.schrc calendar`) . このファイルを `pcal` コマンドを用いて月間スケジュールとしてポストスクリプトプリンタに出力するには、以下のようなプロシジャを組む必要がある。

```
% cut -c1-7,36- calendar > calendar.work
% pcal -f calendar.work | lp -dps -ops
% rm calendar.work
```

詳しい使用法は、オンラインマニュアル (`% lman prsch`) を御覧ください。

2) browse

編集用に 'jvi', リスト用に 'ls -l' を用いたディレクトリブラウザである。

MSP の PFDE に似た機能を持つ。以下に `browse` で用いるコマンドの一覧を添付する。

Commands:

```
SPACE  Enter a subdirectory, or display a file. (less).
&      Run a program that won't clobber the screen.
!      Run a program.
=      Enter a directory name.
?      Peek at the current file.
[      Define a macro.
H      Go to the top of the page.
J      Go to the bottom of the directory.
K      Go to the top of the directory.
L      Go to the bottom of the page.
~L     Repaint screen.
M      Display macros.
N, ^P  Go down 20 lines.
```

P, ^B Go up 20 lines.
 R Rename a file.
 S Save definitions.
 dd Delete file(s). (ask for verification)
 DD Delete file(s).
 h Place cursor at beginning of line.
 l Move cursor to end of line.
 < Display file names only.
 > Display long directory listing.
 + Make a file permanent.
 (Make the current file permanent.
) Make the current file non-permanent.
 j, ^J Go down a line.
 k, ^K Go up a line.
 n, ^D Go down 11 lines.
 p, ^U Go up 11 lines.
 qq, QQ, ZZ Exit.
 r Re-read directories.
 t Toggle tag on current file.
 T Tag all files.
 U Untag all files.
 v Edit a file. (jvi)

マクロの詳細については、オンラインマニュアル (% lman browse) を参照して下さい。

3) dtree

ディレクトリのツリー構造図を表示する。

〈使用例〉

% dtree -a すべてのファイルを表示する。

詳しい使用法は、オンラインマニュアル (% lman dtree) を御覧下さい。

4) memo

メモのファイリングシステム。メモアイテムは、タイトル、キーワード及び中身から構成され、アイテムはそれに付けられた番号か又はキーワードで選択される。

〈使用例〉

% memo -a メモを登録する。

% memo メモをリストする。

% memo -d 番号 メモを削除する。

詳しい使用法は、オンラインマニュアル (% lman memo) を御覧下さい。

(ライブラリ室 電(内) 2508)